

# 第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画 《 計画素案の概要 》

## 第1章 計画の策定にあたって

第1章では、計画策定の背景と位置づけ、対象と期間、策定体制、子ども・子育て支援法に基づく制度の概要について記述しています。(詳細は計画素案の3～7ページ)

### ▼ 計画策定の背景

平成30年の全国の合計特殊出生率は1.42であり、急速な少子化により子どもの数が減少しているにもかかわらず、核家族化や共働き世帯の増加などにより、保育所等では待機児童の増加が社会問題化しています。

また、平成30年9月には「新・放課後子ども総合プラン」を公表し、共働き家庭等の小学校1年生の壁や待機児童を解消するとともに、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うとができるよう、放課後児童クラブと放課後子ども教室の両事業の計画的な整備等を推進する方針が示されました。

平成29年12月には、幼児教育・保育や高等教育の無償化などを盛り込んだ「人づくり革命」と、「生産性革命」の2本柱の新しい経済政策パッケージを閣議決定しました。その中では、「幼児教育・保育の無償化」を2兆円規模で実施し、その財源は令和元年10月の消費税増税分の用途変更などで確保するとなっています。幼児教育・保育の無償化については令和元年10月から実施し、令和2年4月から高等教育を含めて全面実施される計画となっています。

千歳市においては、第1期計画の改定時期を迎えることから、核家族化の進展、女性就業率の増加に伴う保育需要の拡大といった社会情勢や、市民ニーズの変化を施策に反映するために、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とした「第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画」を策定するものです。

### ▼ 計画の位置づけ

本計画は、子ども・子育て支援法第61条第1項の「市町村子ども・子育て支援事業計画」として位置づけられています。国から示された「子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業計画の基本指針」に基づき、千歳市が取り組むべき方策と達成しようとする目標や実施時期を定め、千歳市総合計画や関連する個別計画と整合する計画となります。

#### 千歳市第6期総合計画（平成23～32年度） みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ

##### 【福祉分野】まちづくりの目標

第1 あったかみのある地域福祉のまち

##### 【教育・文化分野】まちづくりの目標

第4 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

##### 【個別計画】

#### 第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画(R2～6年度)

第4期千歳市地域福祉計画(R2～6年度)

第5期千歳市障がい福祉計画(H30～R2年度)

第1期千歳市障がい児福祉計画(H30～R2年度)

第2次千歳市健康づくり計画(H28～R4年度)

第3次千歳市食育推進計画(H31～R5年度)

第3次ちとせ男女共同参画推進プラン(H29～R8年度)

## ▼ 計画の対象と期間

子どもとその家庭、地域、企業（事業所）、行政など、子ども・子育てに関わる全ての個人及び団体を対象とします。また、本計画において「子ども」とは、概ね18歳までを指します。

本計画は、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とします。

## ▼ 計画の策定体制

計画は、子育てニーズ等を把握するための各種アンケート調査や、パブリックコメントを実施するとともに、「千歳市子育てママ応援会議」からの意見聴取のほか、「千歳市子ども・子育て会議」で審議を行います。また、他の計画との整合等、総合的な保健福祉の推進について審議を行う市の附属機関である「千歳市保健福祉調査研究委員会」での審議、庁内検討会議を経て、策定を進めています。

## ▼ 子ども・子育て支援法に基づく制度の概要

子ども・子育て支援法に基づく新制度において、市町村は「子ども・子育て支援給付」と「地域子ども・子育て支援事業」を実施します。

# 第2章 千歳市の現状

第2章では、統計上の数値やアンケート調査に基づく、千歳市の子ども・子育てを取り巻く環境、第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、今後の課題について記述しています。（詳細は計画素案の11～32ページ）

## ▼ 子ども・子育てを取り巻く環境

《統計上の数値から》

- ✓ 人口は増加していますが、児童人口は減少傾向にあります。
- ✓ 「道内で一番若いまち」としての特徴があります。
- ✓ 子育て世帯が多く、その大半が核家族で構成されています。
- ✓ 女性の20～44歳における有配偶率は全国・全道に比べて高く、出生数は減少傾向にあるものの高い水準を維持しています。
- ✓ 女性の就業率は増加傾向にあり、全道水準よりも高くなっています。

《子ども・子育て支援アンケート調査から》

- ✓ 就学前児童の母親の就労状況は、現在は就労していない方が約4割を占めており、そのうち今後就労を希望している母親は約7割となっています。
- ✓ 育児休業を取得していない理由は、母親は子育てや家事に専念するために退職、父親は仕事が忙しいことや育児休業を取りにくい雰囲気があることが高い割合となっています。
- ✓ 千歳市は「子育てしやすいまち」と、就学前児童の保護者は約5割、小学生の保護者は3割強評価しています。
- ✓ もっと子育てしやすいまちにするために、「働く親が利用できる子育て支援事業の推進」「仕事と子育ての両立の推進」「安心して妊娠・出産を迎えるための環境づくり」が重要とされています。

## ▼ 第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況

計画初年度である平成27年度から平成30年度までの基本目標ごとの施策については、概ね計画通りに進捗しており、各施策は着実に推進されています。

## ▼ 今後の課題

課題1	保育・教育サービスの充実
課題2	仕事と子育ての両立の推進
課題3	子育てに対する切れ目のない支援
課題4	援助が必要な家庭への適切な支援

# 第3章 計画の基本的な考え方

第3章では、計画の基本理念、基本目標、施策の体系、主要施策について記述しています。(詳細は計画素案の35～44ページ)

## ▼ 子ども・子育てビジョン（基本理念）

**子どもが幸せを実感し、子育て家庭の笑顔があふれる、  
みんなで子育てのまち**

基本的な視点：1	子どもを健やかに育む視点
基本的な視点：2	子育て家庭を妊娠・出産・子育てまで切れ目なく支える視点
基本的な視点：3	子どもと子育て家庭をみんなで支える視点
基本的な視点：4	「子育てするなら、千歳市」、子育て世代から選ばれるまちを目指す視点

## ▼ 基本目標

基本目標1	子どもが自己肯定感と幸福感を抱ける環境の充実
基本目標2	安心して子どもを生き育てられる環境の充実
基本目標3	子どもの安心・安全の確保と子育てしやすい環境の充実
基本目標4	配慮を要する子どもと家庭への支援
基本目標5	人口10万人を目指す「子育てするなら、千歳市」、「売り込め！千歳」の推進

## ▼ 施策の体系

基本理念	基本的な視点	基本目標	基本施策
<b>子どもが幸せを実感し、子育て家庭の笑顔があふれる、みんなで子育てのまち</b>	<b>視点：1</b> 子どもを健やかに育む視点	<b>1</b> 子どもが自己肯定感と幸福感を抱ける環境の充実	(1) 次代の親の育成 (2) 学校の教育環境等の整備 (3) 家庭や地域の教育力の向上 (4) 子どもが健やかに育まれる環境の充実 (5) 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実
	<b>視点：2</b> 子育て家庭を妊娠・出産・子育てまで切れ目なく支える視点	<b>2</b> 安心して子どもを生ま育てられる環境の充実	(1) 子育て支援サービスの充実 (2) 地域における連携・交流の充実 (3) 妊産婦・乳幼児等に関する切れ目のない健康対策の充実 (4) 小児医療の充実 (5) 仕事と子育てを両立するための環境づくり (6) 結婚・出産・子育てのライフイベントを応援する環境づくり (7) 子育て支援の利用につなげるきめ細やかな取組の推進
	<b>視点：3</b> 子どもと子育て家庭をみんなで支える視点	<b>3</b> 子どもの安心・安全の確保と子育てしやすい環境の充実	(1) 良質・良好な居住環境の確保 (2) 子育てにやさしい環境の整備 (3) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 (4) 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
	<b>視点：4</b> 「子育てするなら、千歳市」、子育て世代から選ばれるまちを目指す視点	<b>4</b> 配慮を要する子どもと家庭への支援	(1) 児童虐待防止対策の充実 (2) 心のケアを必要とする子どもへの支援の充実 (3) ひとり親家庭の自立支援の充実 (4) 障がいのある子ども等への支援の充実 (5) 子育て家庭への経済的支援の充実
		<b>5</b> 人口 10 万人を目指す「子育てするなら、千歳市」の推進	(1) 子育てしやすいまちづくりを通じた人口増の推進

## ▼ 主要施策

次の優先度の高い施策や先進性の高い独自事業を、計画における「主要施策」に位置付けて推進します。

1 北陽小学校分離校新設に伴う児童館・学童クラブの整備	12 「ままサポート(訪問型子育て支援)」の推進
2 「ランドセル来館」の実施	13 子育てに関する総合情報発信の拡充
3 地域子育て支援センターの利用促進	14 「転入親子ウエルカム交流ツアー」の実施
4 認定こども園化の促進	15 「子ども家庭総合支援拠点」の運用
5 保育関連スタッフ確保の推進	16 「子育てスキルアップ講座」の実施
6 産後ケア事業の充実	17 母子家庭及び父子家庭自立支援給付金事業の推進
7 特定教育・保育施設の充実	18 障がい児のための「インクルージョン保育」の推進
8 ちとせ版ネウボラの充実	19 児童発達支援センターの設置による地域支援の充実
9 男性の育児参加の促進	20 特定教育・保育施設等の保護者の負担軽減の拡充
10 「いいお産の日 in ちとせ」の実施	21 不妊治療費助成事業の実施
11 「ちとせ子育てコンシェルジュ」の配置	22 ちとせ子育て特典カード事業の推進

## 第4章 量の見込みと提供体制の確保等

第4章では、教育・保育提供区域、将来の子ども人口の見通し、子ども・子育て支援法において、国が計画への記載項目として定める「教育・保育等の量の見込みと確保の方策及びその実施時期」について、また、その他個別施策の指標について記述しています。（詳細は計画素案の47～75ページ）

### ▼ 教育・保育提供区域

計画では、区域ごとに保育所などの教育・保育施設や、事業の必要量を算出し、提供体制の確保の内容や、実施時期を示す必要があります。

向陽台地区も含めた市街周辺地区が一つの生活圏として成り立っており、圏内における柔軟な需給体制を確保するため、教育・保育提供区域を『千歳市全域（行政区）』として設定しています。

### ▼ 将来の子ども人口の見通し

事業の必要量算出のため、次のとおり子ども人口を推計しています。

※本推計については、平成30年の人口動態が未確定のため、平成29年の数値を基に作成しており、暫定値となっております。

	現況	推 計				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総人口	96,997	97,732	98,010	98,506	98,635	96,997
子ども人口 (0～17歳)	15,855	15,645	15,464	15,325	15,157	15,855
就学前	5,059	4,930	4,791	4,625	4,501	4,438
小学生	5,447	5,450	5,374	5,368	5,320	5,204
中学生	2,720	2,740	2,798	2,787	2,801	2,754
高校生	2,780	2,735	2,682	2,684	2,703	2,761
子ども 人口比率	16.6%	16.3%	16.0%	15.8%	15.6%	15.4%

### ▼ 幼児教育・保育事業

#### [教育・保育施設]

認定こども園、保育所等を利用する場合の「保育の必要性の認定区分（1号、2号、3号認定子ども）」ごとに、施設の必要量（利用児童数）を見込み、事業者の意見等を踏まえた提供体制の確保の方策を記述しています。

#### [地域型保育事業]

教育・保育施設と同様に、事業の必要量を見込み、事業者の意見等を踏まえた提供体制の確保の方策を記述しています。

### ▼ 地域子ども・子育て支援事業

市町村が地域の実情に応じて実施する14事業のうち12事業について、事業の必要量（利用人数）と提供体制の確保の方策を記述しています。

## ▼ 幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進体制の確保

幼児期の教育・保育の一体的な提供及び推進体制の確保の内容について記述しています。

市は、保護者の就労の形態によって子どもの環境が左右されず、かつ質の高い基準を満たす施設として、「認定こども園」の普及促進に取り組むこととしています。また、その他の教育・保育施設についても、相互に連携・協働する体制を構築することとしています。

## ▼ その他個別施策の指標

第5章に掲げる個別施策のうち一部の施策について、計画期間における達成状況を把握するため、指標（目標数値等）を掲げています。

# 第5章 目標の実現に向けた個別施策の展開

第5章では、施策の体系に基づき、全141の個別具体的な施策について記述しています。（詳細は計画素案の79～143ページ）

基本目標1	子どもが自己肯定感と幸福感を抱ける環境の充実 【 施策数 30 】
基本目標2	安心して子どもを生み育てられる環境の充実 【 施策数 58 】
基本目標3	子どもの安心・安全の確保と子育てしやすい環境の充実 【 施策数 12 】
基本目標4	配慮を要する子どもと家庭への支援 【 施策数 31 】
基本目標5	人口10万人を目指す「子育てするなら、千歳市」の推進 【 施策数 10 】

# 第6章 計画の推進にあたって

第6章では、計画を推進していくうえで必要となる、計画の進捗管理、計画推進に向けた関係機関の役割、財政基盤の確立について記述しています。（詳細は計画素案の147ページ）

### 【計画全体の成果指標の設定】

指標項目	現状値	目標値
千歳市は「子育てがしやすいまち」または「どちらかといえば子育てがしやすいまち」と思う人の割合	40.5% (平成30年度)	50.0% (令和5年度)

※市民アンケート調査結果より成果指標を設定



以上のことにつきまして  
市民の皆さまのご意見  
をお寄せください！